

東部地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会
③浜町 議事要旨

記

- 日時 平成 27 年 5 月 11 日（月）18 時 30 分～20 時 50 分
- 場所 市役所第 4 庁舎 3 階第 7 会議室
- 次第
 1. 挨拶
 2. 工事進捗状況及びスケジュールについて
 3. 国道 45 号東側の宅地割込み案について
 4. グリーンベルト整備について
 5. 災害復興公営住宅について
 6. フロントプロジェクト(市民ホール・情報交流センター等)について
 7. 新釜石魚市場について
 8. 釜石港海岸の防波堤について
 9. 甲子川水門の進捗状況について
 10. 釜石湾港防波堤の復旧状況について
 11. 意見交換

市民ホールの計画に、駐車場が盛り込まれていないが、どう考えているのか？

→ 大変申し訳ないのですが、今までどおり市営駐車場をお使いいただきたいと考えております。

復興予算は足りるのか？

→ 予算としては、国から復興交付金の予算をいただいています。「津波復興拠点整備事業」に約 106 億円、「グリーンベルトの整備」に約 29 億円、「漁港施設機能強化事業」に約 32 億円、ほぼ全てを国費で賄える計画になっています。

平面図なので、立体的なイメージが湧かない。

- 平面図だけだと立体的なイメージが湧かないかと思います。現在は断面図でイメージを補完している状況ですが、個別説明会の際には皆さんにもイメージが伝わるようにしていきたいと考えています。

土地の収用・買収の進捗状況が、7割というのはまだ少ないと感じるがどうか。

- 現在、住民の皆様のご協力のおかげで7割強の買収が進んでいます。ただ、まだまだ足りないというご意見も重々承知している次第です。具体的に再分譲の場所や価格等が明確に出されないと不安に思う住民の方もいて、合意に至っていないケースがあります。6月以降、個人面談で具体的なものを提示させていただく中でそういった不安を取り除き、進めていけるものと見込んでいます。

魚市場付近区画について。水産業を振興していくためには、計画をしっかりと進める必要があると思う。

- 現在、6区画の計画予定です。そのうち2区画は決定しています。残り4区画については土地買収が85%程度進んでいます。今年度中に買収を終わらせて、進めたいと考えています。その後、審査をしてもらい、釜石の為に一生懸命がんばってくれる業者を選定したいと考えています。

どうして買収計画が遅れているのか、という理由を教えてください。

- 市に一度買い取りをしてもらうことに不安を覚えてしまっている方が少なからずいます。再分譲という形なのだが、本当に土地が戻ってくるのか不安な所があるようです。また、土地の所有者が亡くなっており、権利関係や相続関係の問題で遅れていることも計画が遅れている原因の一つとして挙げられると思います。

浜町に以前から住んでいる住民は震災後も粛々と生活をしている。そのような方々にもっと市の計画等を説明する機会などがあるべきではないか。

- 浜町のみなさんには、復興事業の状況がなかなか見えづらく、大変申し訳なく思っております。危険区域に指定されている箇所は住むことが出来ませんので嵩上げをします。居住可能な場所に関しては、再分譲をする予定なのですが、再分譲ということは、市が一旦買い取るということです。この復興計画がうまく進むように、皆さんにもご協力をお願いしますというのが本日の会の趣旨です。どうか皆さんよろしくお願い致します。

市長の発言の中に、地権者の所有している宅地面積が一割ほど減るといった話があったが、これは決定事項なのか？

→ 補足します。市長が挨拶で話した内容の意味は、東部地区以外の区画整備事業（鵜住居や片岸など）の中で、皆様から平均して一割程度の土地を「減歩」としていただいて道路などを作っていることの話でした。東部地区では、平成 26 年の 8 月に意向調査をしまして、その中の考え方として「復興後の土地面積は震災前のもとの、ほぼ同程度」「かさ上げ費用も釜石市が負担します」ということは伝えてあります。但し、土地の再分譲にあたり、市が買い上げた値段と再分譲の値段は同じになるかどうかはわかりませんというご説明もしています。最終的には借地という方法もあります。今後の個別面談では宅地面積のお話や調整もしたいと考えています。出来る限り皆さんの負担を軽減しようと考えていますのでよろしくお願いします。

ちょっとしたことがお互いの不信感の元になる可能性がある。様々な計画を、今後もっと分かりやすく住民にしていって欲しいと思っている。よろしくお願いします。

→ 承知いたしました。よろしくお願いします。

防潮堤について。港町のあたりは整備をしているのを見るが、浜町の防潮堤計画の具体的なスケジュールはどうなっているのか？

→ 平成 28 年 3 月を計画しております。

防潮堤の窓が多いと感じる。海を見るためのものだろうからもっと少なくてもいいんじゃないか？工期も金もかかるはずだが。

→ おっしゃるとおり、窓は海を見るためのものです。多ければ多いほど時間と予算はかかります。但し、市としては海の眺めを確保したいという考えで行っております。

(市長)：本日は長時間に渡りご参加いただきましてありがとうございます。本日はいくつかご指摘をいただきました。1つは、地権者の方々に早く理解を得ていきなさいというお話でした。去年の説明会で、皆様にご理解を得ていきたいと話したところから1年が経過いたしました。現在7割の方に了承を頂いております。残り3割の方々につきましても担当者が一生懸命説明にあたっており、感触としては大丈夫だという前提があった上で計画を進めている状況です。ぜひ今後も地権者の皆様にはご協力のほどよろしくお願いします。先ほど説明がありましたが、平田や鵜住居が行っている区画整理と、東部地区が行っている再分譲は厳密には違う手法です。結果としては

同じような形になるのですが、誤解を招くような私の発言があったことをお詫びするとともに、出来るだけ再分譲する土地の場所・面積や値段も、皆さんの負担が無いようにしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。さて、本日の説明の中で、市民ホールなどの計画についてはお話いたしました。こちらは「フロントプロジェクト1」と呼ばれるものです。フロントプロジェクトは、本来は1～3まであり、では他の2、3はどのような状況なのか。昨年、基本計画までは作成いたしましたが、現時点で次の展開には至っておりません。こちらについても、次の段階に進み次第また皆様にご説明をしてご理解を得ていきたいと考えております。地区ごとに説明会を行っておりますが、もし希望があれば町内会規模でもご説明に伺います。来月には土地についての個別説明会が順次行われます。皆様には、このような協議会を毎回行ってほしいと言われておりますが、釜石の被災全21地区で開催している状況です。その為、短いスパンで開催することが出来ないのですが、出来るだけ短い期間内で開催していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。